

## 素晴らしい学びの連続性をやり遂げた

### 5歳児 ぶどう組さんに乾杯

笠縫幼稚園

4月8日

いちご組・もも組と一緒にぶどう組になりました。学級の人数は、35名で、違うクラスの園児が半分いるので、担任の宇野先生や他の友達のことを気になりました。

4月16日 対面式

いちご組・もも組との対面式をしました。4歳児に、「自分たちが、お兄さん、お姉さんなんだよ」と、心から分かってもらえた日でした。それは園歌を手



話付きで子どもたちに教えたり、上笠天満宮まで、手をつないで連れて行ったりしたからでした。世話役さんから「素晴らしい子どもたちですね」と、ほめていただき、そのときの様子を納めた写真を何枚も掲示していただきました。

5月18日 親子バス旅行

矢橋の帰帆島に親子で行きました。幼稚園では、お兄ちゃん、お姉ちゃんとして、ウサギの世話や小鳥の世話や4歳児の世話など一生懸命にしている子どもたちですが、親子バス旅行で家の方が近くにいていただくと、少し甘えが出てきました。とっても嬉しそうな顔をして、家の人と歩いたり、手を握ったりしていました。



6月29日 洗濯ごっこ

環境教育の一環として、PTAが中心になって取り組みを進めていただいています。今回は、子どもたちにごみの分別についても関心を持ってほしいということで、ごみの分別について話をしたり、実際に分別させたりしました。その後、上靴を有害でない洗剤を使って、洗いました。



### 7月9日 1年生と一緒に、水遊び

小学校のプールをお借りして、1年生と一緒に、水中探検をしたり、宝物探しをしたりしました。とっても楽しかったという、満足感で満ちあふれている顔でした。また、1年生が上手に泳ぐ姿を見て、「すごいなあ」というため息があちこちから漏れていました。



### 9月17日 地域に初見参し、大喝采を浴びた敬老会

5月頃から敬老会でおじいちゃん、おばあちゃんに喜んでもらうために何をしようかと、ぶどう組さんなりに色々と考えました。今回は、出し物の一つに、バルーンを使って踊りを体育館の前面でしました。演技の途中から会場が異様なざわめきを見せ、あちこちから「すごいなあ」というおじいちゃん、おばあちゃんのささやきが聞こえてきました。中には、大きな声で「いいぞー」と声をかけてくれる人もいました。



演技が終わった後、万雷の拍手をいただき、子どもたちも自信を持って意気揚々と引き上げました。おじいちゃん、おばあちゃんと子どもたちが一つになった会場でした。

### 9月29日 保護者の瞳からここまで頑張った子どもたちへ大粒の涙が。

3つのグループに分かれて、全員リレーをしました。当日は小雨が降っていたので、急遽小学校の体育館を借りて運動会を続行しました。体育館ですし、カーブが多く、子どもたちは一生懸命に走っているのととても滑りやすい状況でした。何人かの子どもたちがカーブで転びました。しかし、すぐに起きあがって、走り続けました。泣いている余裕さえなく、必死に走り続けました。また、転ばなかった子も必死になって走り続けました。その姿を見て、ここまで成長した姿に感無量の多くの保護者が涙、涙でした。同時に担任に対する感謝の気持ちで満ちあふれていました。



10月2日 中村さんにお世話になった さつまいも掘り



5月23日に、幼稚園の近くの中村さんの家の畑を借りて、サツマイモを植えさせていただきました。その日から毎日、子どもたちはグループごとに、職員一名と一緒に、水やりをしたり、草抜きをしたりしました。そして、10月2日にサツマイモ掘りをしました。子どもたちの献身的な土や水との関わりもあって、大きなサツマイモがたくさんとれました。その後、子どもたちの要望もあって、中村さんとの交流は次々と続きました。

11月9日、12日 子どもたちが考えに考えて築き上げたぶどう組ランド

ぶどう組ランドとは、ぶどう組の子どもたちが、遊びのランドをそれぞれ分担して作り、そこに4歳児や保護者や先生たちに来ていただくための招待状を作り、来ていただいたときにそれぞれが店の人になってもてなすという取り組みです。レストランコーナー、お化け屋敷、コンサート、アクセサリー、冒険の島、ゲームセンターなどに分かれて、取り組みました。招待してもらった、4歳児も保護者も子



どもたちの真摯な接待の様子に感動しておられましたし、交流を図ることが出来ました。

12月4日 あったかもちつき大会

地域の方のお力や、PTA本部の方のお力をお借りして、もちつき大会をしました。全員の子どもたちが、もちつき体験をしました。その後、きな粉や醤油をつけておいしく食べました。

もちつきを通して、心がほかほかする暖かな雰囲気になることが出来ました。



### 1月31日 5・5交流

5年生と5歳児のぶどう組さんが、一緒になって交流しました。5歳児が来年度笠縫幼稚園に行くので、そのときの6年生との交流をしておくことで、お互いの人間関係が分かたり、安心して小学校へ入学する素地を築いたりする場です。5年生の子どもたちが、色々な楽しむことを考えてきてくれました。それをもとに、仲良く遊ぶことが出来ました。



### 2月9日 保護者の感激の涙、涙の生活発表会



生活発表会は、子どもたちの学びの集大成として行っています。今回は、30分近くになる劇「ありがとうに ありがとう」と、4つのグループに分かれての出し物がありました。子どもたちが、長いせりふを覚えたり、舞台を縦横に動き回って見せた劇の内容や、4つのグループの真剣な取り組みなどを見て、保護者の顔は、涙、涙でした。子どもの成長にここまで喜んでもらえる保護者と一体となれたことに関して、感謝したいと思います。また、この劇と同じテーマで、3月2日には、保護者主催による「先生への感謝の会」を開いていただきました。担任の宇野先生の一言。「あまりの感激に、家に帰ってお風呂で一人涙していました。素晴らしい学級を持たせてもらえた喜び。素晴らしい子どもたちに出会えた喜び。素晴らしい保護者と出会えた喜び。それに、私は感謝したい。」

### 3月18日 修了証書授与式

ぶどう組さんが、今年一年間、幼稚園を引っ張ってきました。そして、その素晴らしい日々の学びを認め、幼稚園を修了したという式を行いました。その式の中で、「別れのことば」があります。これには、4歳児さんも入ってやりとりをするところもあります。

ぶどう組さんは、せりふや歌を折り混せて1年間の思い出をつづっていきます。

「なんと、あれだけの言葉が覚えられたものだな。やりければあそこまで出来るんだな。」

「素晴らしいの一言だ。」

「子どもたちのがんばりは、涙無くして試みる事が出来ない。」

「この素晴らしい式に臨席できたことを誇りに思います」

「笠縫幼稚園、素晴らしい。」

ご来賓の方から様々なお褒めの言葉をいただきました。また、保護者からも「宇野先生、この1年間本当にありがとうございました。ここまで子どもを伸ばしていただいて、感謝でいっぱいです」

「子どもが、『宇野先生のような幼稚園の先生になりたい』と言っています。」

「先生が、子どものことを心から愛して下さる姿があったからこそ、厳しさとやる気を持って接していただけたのだと思います。」

等、等の大絶賛の言葉がすべての保護者からいただきました。

